導入マニュアル

OrliSca

目次

- 導入編
  - ➢OrliScaをMT4へ保存方法
    - Windows OSの場合
    - MAC OSの場合
  - ➢OrliSca稼働方法
- OrliScaについて
  - ➢パラメータ設定
  - ➢通貨強弱
  - ➢メール送信設定



導入編

ORLISCAをMT4へ保存方法　手順１

※こちらはのAXIORYまたはXMの
MT4を起動して、デモ口座または本口座にログインができている状態が前提です。

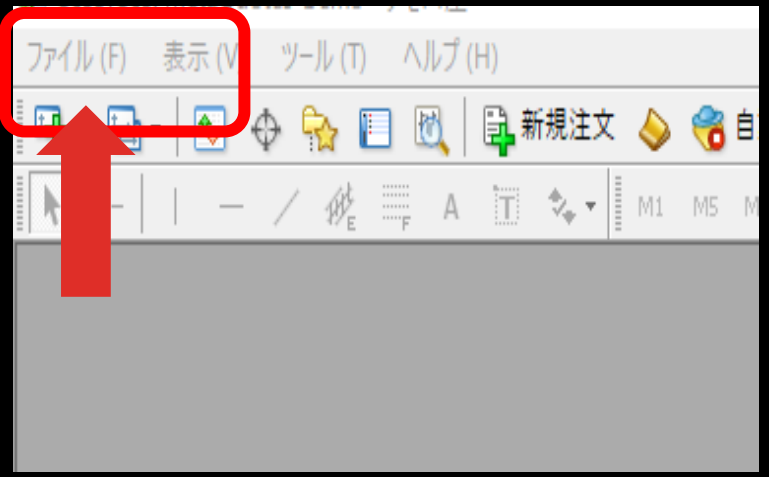


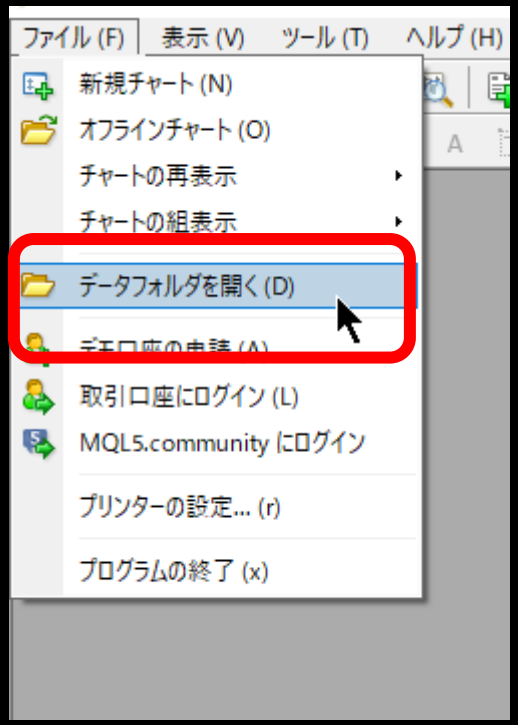
Windows OSの場合

ORLISCAをMT4へ保存方法　手順2

１、MT4の左上の「ファイル」をクリックします。

２、「データフォルダを開く」をクリックします。





Windows OSの場合

ORLISCAをMT4へ保存方法　手順3

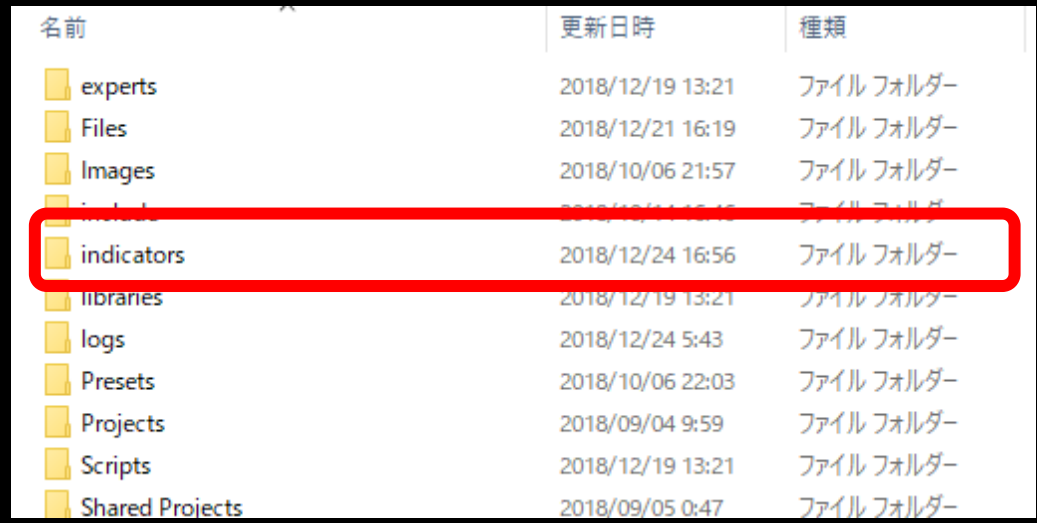
1、「MQL4」フォルダを開きます。

2、「indicators」フォルダを開きます。

3、「OrliSca.ex4」をここに保存します。

4、保存ができましたら、閉じてMT4を再起動させます。





Macの場合

ORLISCAをMT4へ保存方法　手順１

- Finderを開く
- Optionキーを押しながら、画面上部のメニューにある「移動」をクリック
- （まだOptionキー押したまま）「ライブラリ」をクリック



Macの場合

ORLISCAをMT4へ保存方法　手順２

- Application support
- com.XM.MACMT4～（以下略）←フォルダ名が長い。

例「com.XMTrading.MACMT4～」

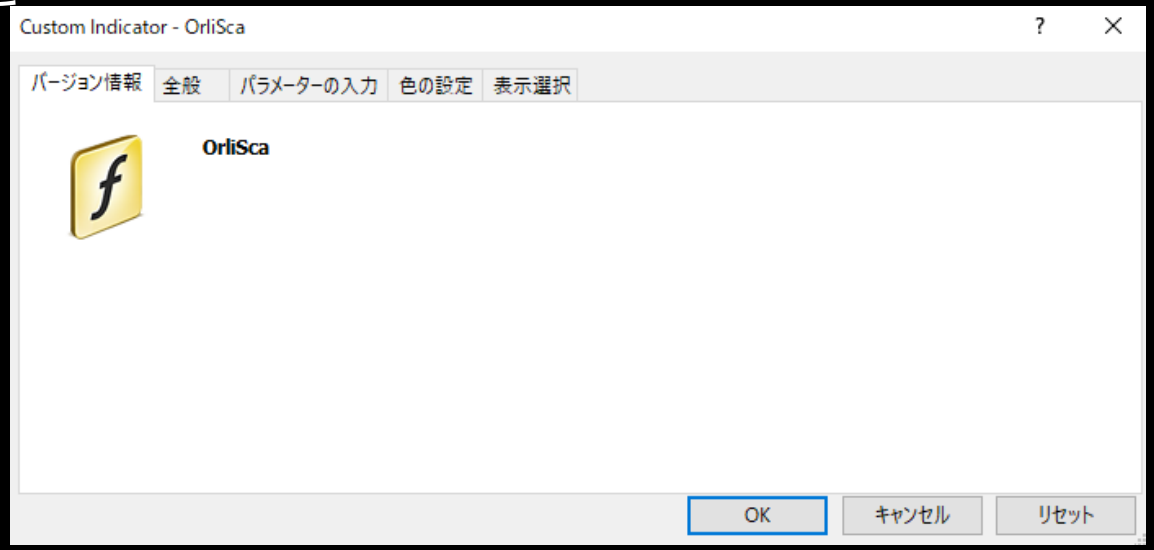
- drive_C
- Program files
- XMTrading MT4
- MQL4
- indicators

indicatorsフォルダを開いてOrliSca.ex4をマウスで ドラッグ・アンド・ドロップすれば完了です。

稼働方法

- MT４を再起動しましたら、上部の「ツール」→「オプション」をクリックします。

- 表示されたナビゲーターから「インディケータ」にある「 OrliSca.ex4 」を選択してコピー＆ドラッグしてチャートに適用します。

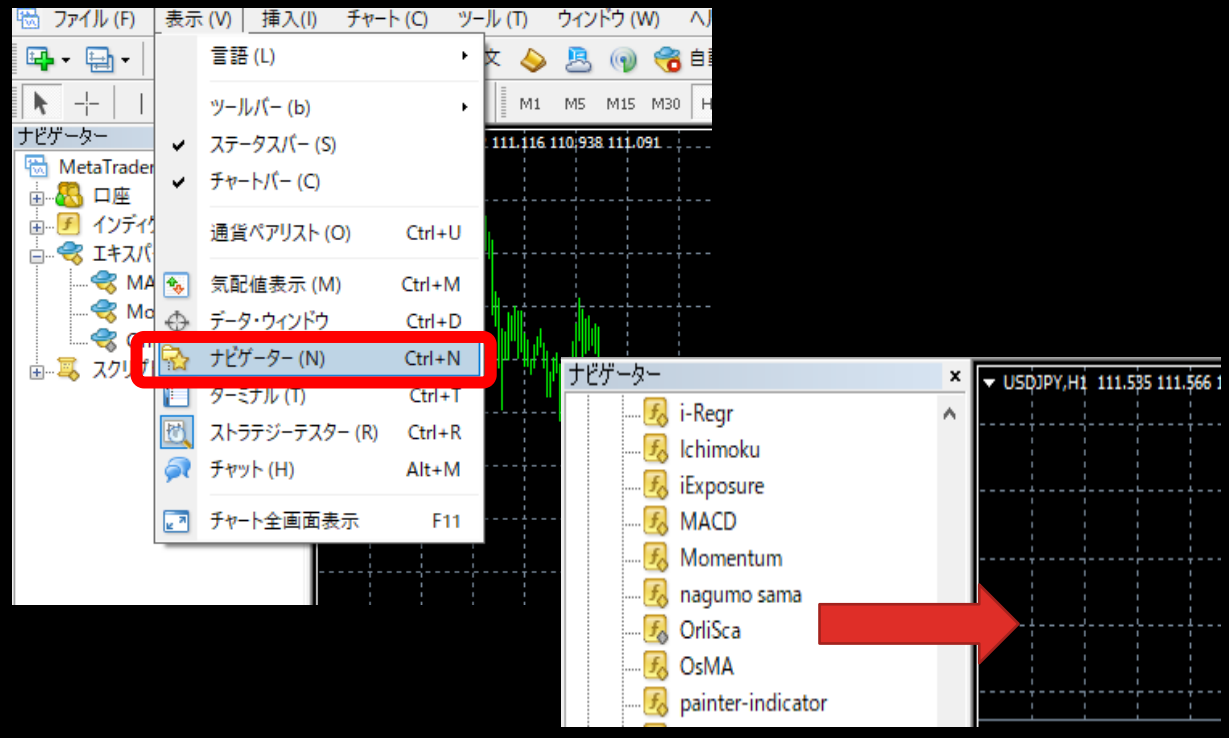


稼働編

稼働方法

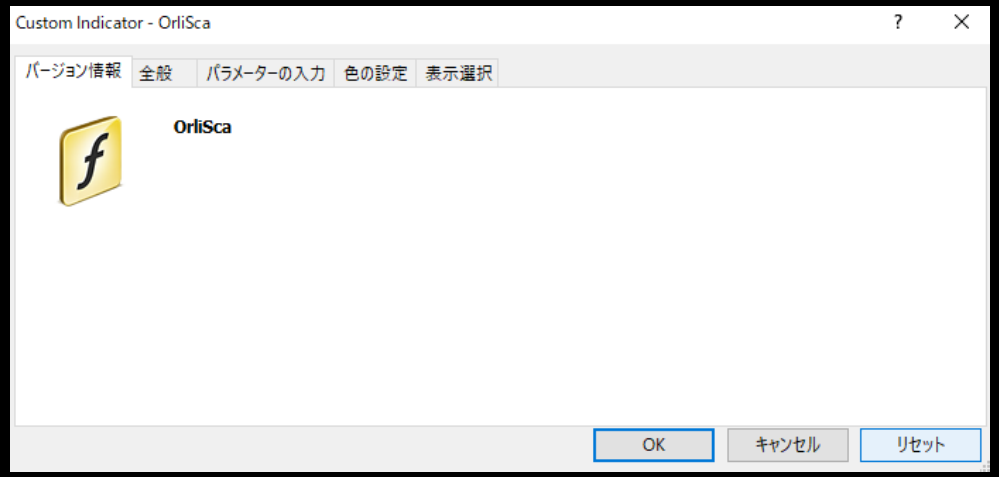
- 続いて、稼働したい通貨ペアのチャートを選択してチャート上部の「表示」→「ナビゲーター」をクリックします。

- 表示されたナビゲーターから「インディケータ」にある「 OrliSca.ex4 」を選択して、クリックしながらチャートへマウスを動かして（コピー＆ドラッグ）チャートに適用します。



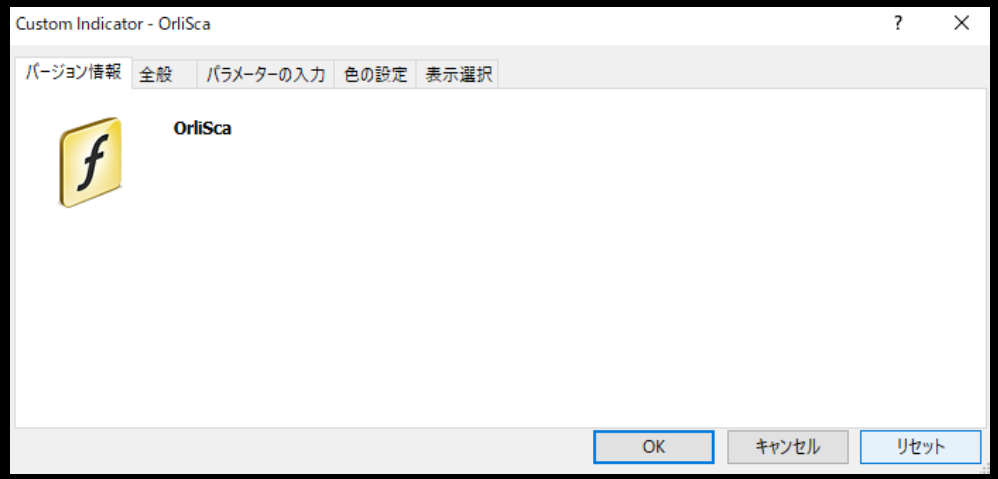
導入画面

- チャートへ導入が成功すると以下の画面が表示されます。



導入画面　正常な場合

- チャートへ適用が成功すると以下の画面が表示されます。





パラメータ設定の説明

OrliSca.ex4は**4つの設定項目**があります。

①タイミング

点灯 ・・サインの点灯時にアラート

確定 ・・サインの確定時にアラート

点灯＆確定 ・・サインの点灯時と確定時にアラート

②通貨ペア

表示・非表示の切り替え

③文字サイズ

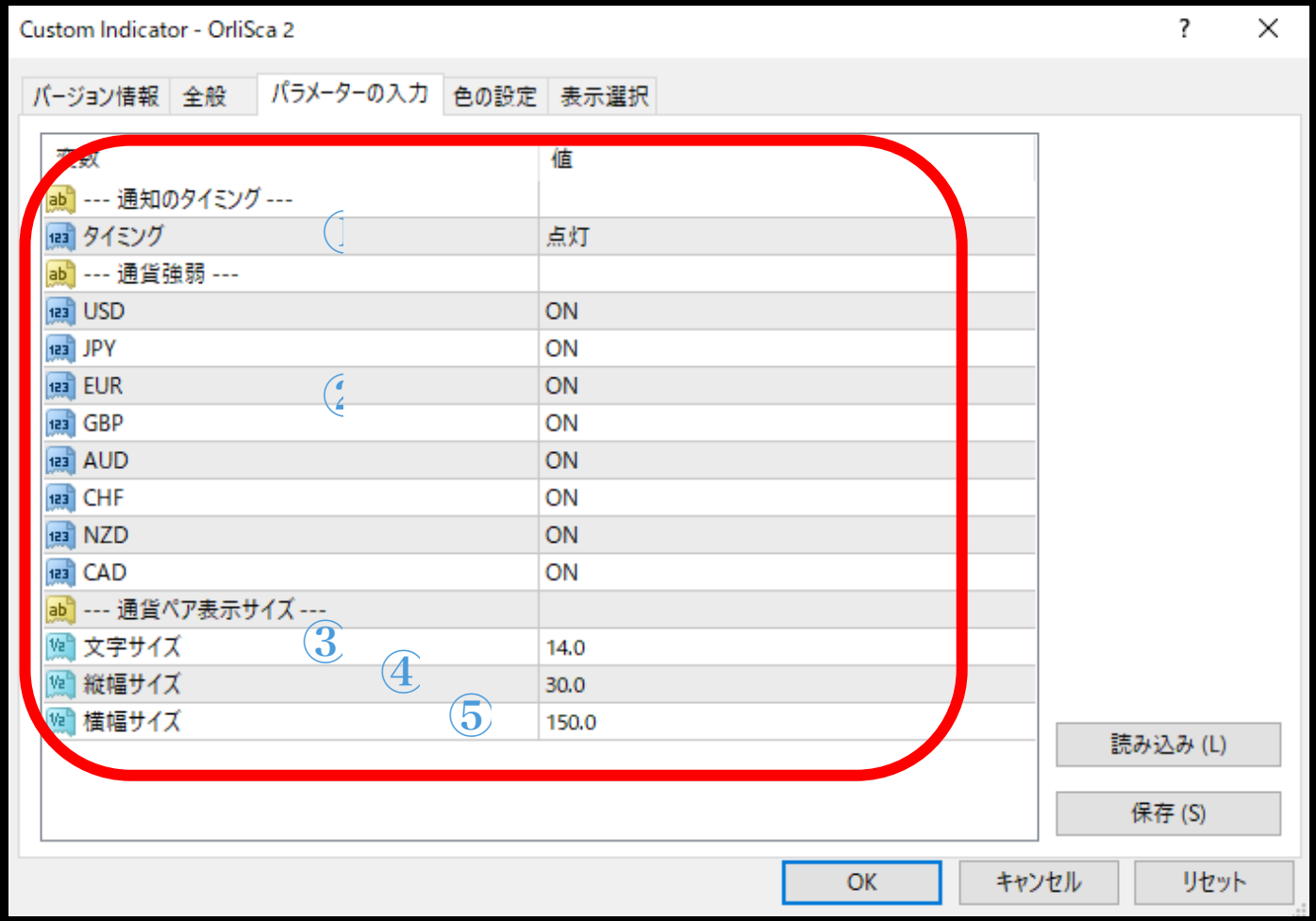
通貨強弱の文字の大きさを調整できます。

④縦幅サイズ

通貨強弱の縦幅を調整できます。

⑤横幅サイズ

通貨強弱の横幅を調整できます。



OrliSca.ex4
通貨強弱

チャート情報&MAタッチ

OrliSca.ex4　通貨強弱

各MA(移動平均線)の期間ごとの通貨強弱を一目で分かるようになっています。

JPY,GBP,EUR,USD,CAD

AUD,NZD,CHFに対応しており

右図では、MA５期間において

GBP,CAD,AUD,JPY,EUR,USD,NZD,CHFの順番で強いと判断ができます。

5MA	GBP > CAD > AUD > JPY > EUR > USD > NZD > CHF
25MA	AUD > NZD > CAD > EUR > GBP > JPY > CHF > USD
75MA	AUD > NZD > GBP > JPY > CHF > EUR > CAD > USD
200MA	CHF > JPY > AUD > NZD > GBP > CAD > EUR > USD

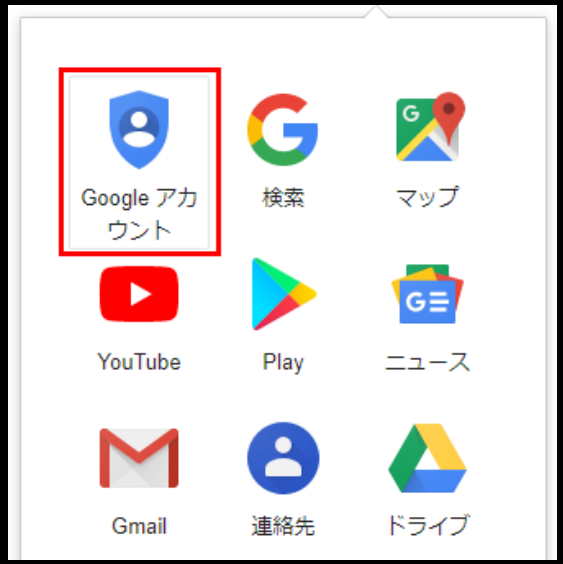
左が1番強く、右が1番弱い

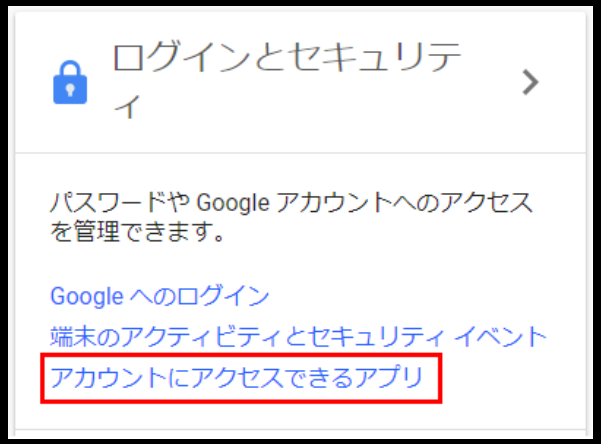
メール送信

メール送信設定　安全性の低いアプリの許可の設定の仕方１

MT4でメールを送る場合は「安全性の低いアプリの許可」を有効にする必要があります。

- 「Googleアカウント」をクリックします。
- 「アカウントにアクセスできるアプリ」をクリックします。
- ※ログインしていない場合は、ここでログイン画面が出てくると思います。

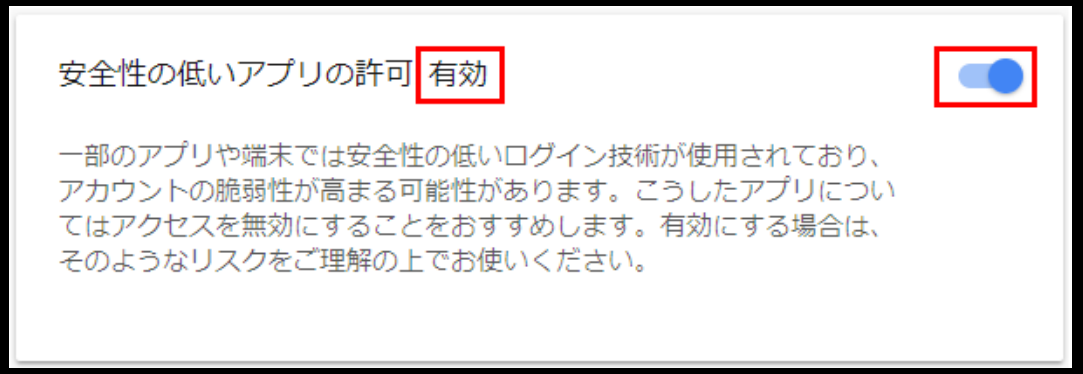




メール送信設定　安全性の低いアプリの許可の設定の仕方２

- 「安全性の低いアプリの許可」が無効になっているとMT4でメールを送ることが出来ないです。

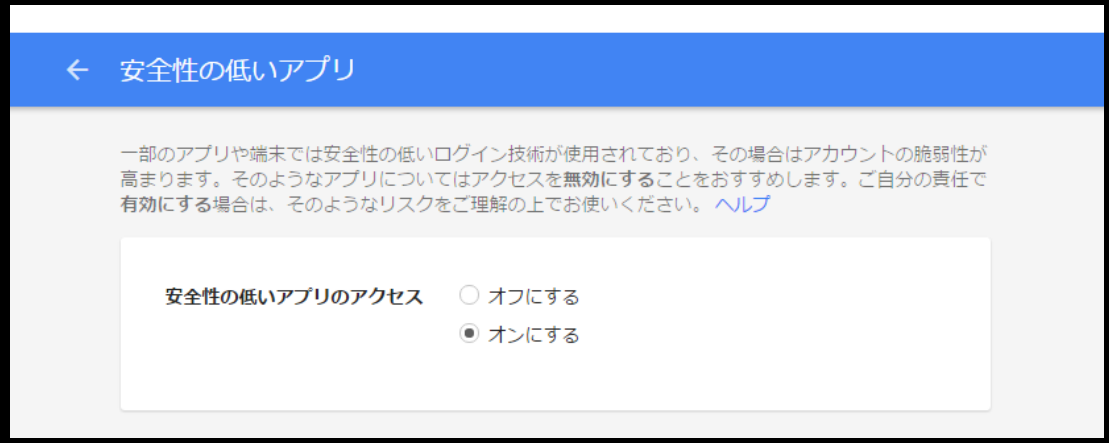
- 「安全性の低いアプリの許可」を有効にするとMT4でメールを送ることが出来るようになります。



メール送信設定　手順１

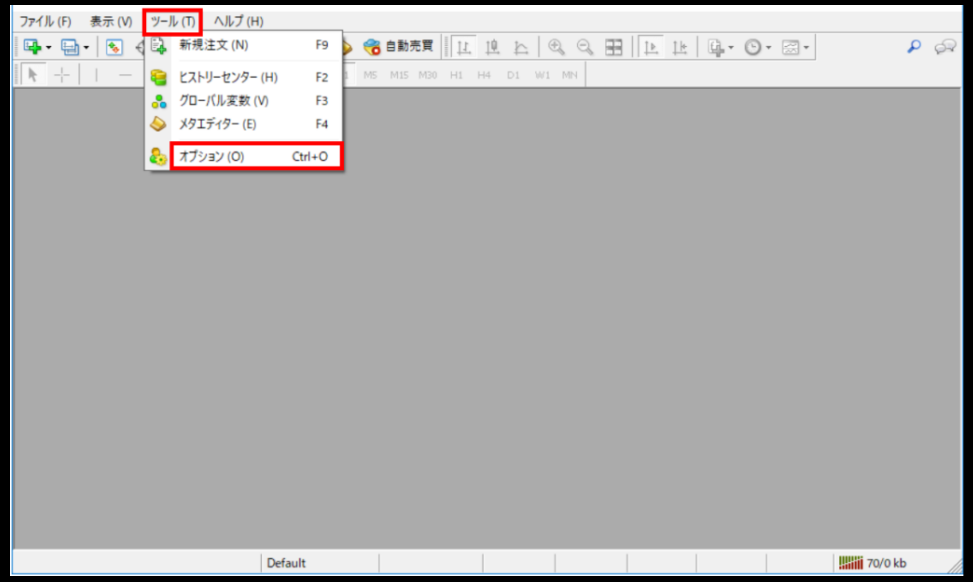
- まず受信したいＧｍａｉｌアカウントを用意します。
- 以下のアドレスを開きます。

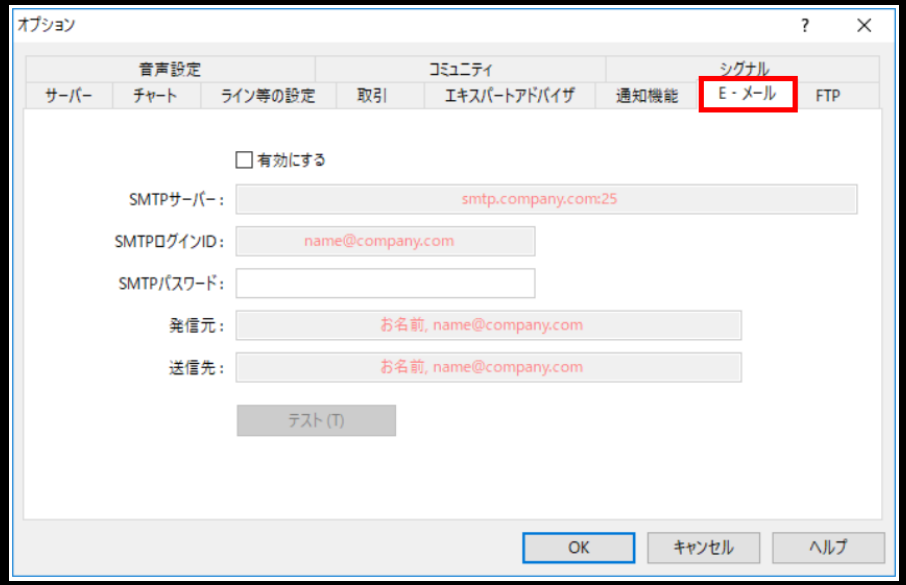
  https://www.google.com/settings/u/2/security/lesssecureapps
- テストメールが届いたら設定完了です。
- 「オンにする」にチェックを入れてください。（設定が反映されるまで若干のタイムラグがあるようです）



メール送信設定　手順２

- MT4上部の「ツール」→「オプション」
  →「E-メール」タブを選択します。
- 「有効にする」にチェックします。





メール送信設定　手順３

・ SMTPサーバー ⇒smtp.gmail.com:465

・SMTPログインID ⇒ Gmailのメールアドレス

・SMTPパスワード⇒ Gmailのパスワード

・発信元 ⇒ 送信メールアドレス（Gmailアドレス）

・送信先 ⇒ 送信先のメールアドレス（Gmailでなくてもよい）

を設定して下さい。テストボタンをクリックしてテストメールの送信が成功すれば設定はOKです。

※「安全性の低いアプリの許可」が 無効になっている場合は、「Mail: login to smtp.gmail.com:465 failed」このようなエラー（ログイン失敗）が出てメールが送れないようです。

